

平成26年度

事務事業評価表 A (平成25年度の実績評価)

記入年月日
平成 26 年 4 月 15 日

事務事業名		区体カづくり推進助成事業				区分		事務事業No.	30413402		
						<input type="checkbox"/>	分野別主要事業	課内No.	2		
		政策体系上の位置付け				<input type="checkbox"/>	未来プロジェクト事業	主管課			
政策体系	総合計画の施策名	304	生涯スポーツ活動の振興			<input type="checkbox"/>	市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会		
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/>	合併建設計画事業	所属課	スポーツ振興課	34	
	施策名	4	生涯スポーツ活動の振興			<input type="checkbox"/>	新規事業	課長名	大関 一郎		
	基本事業名	1	スポーツをする機会の充実			<input checked="" type="checkbox"/>	単独事業	<input type="checkbox"/>	補助事業	グループ	スポーツ振興課
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	米川 建男		
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input checked="" type="checkbox"/>	単年度のみ		
	1	10	6	1	2	保健体育総務事業		<input checked="" type="checkbox"/>	単年度繰返し (年度～)		
法令根拠		桜川市補助金交付規則				<input type="checkbox"/>	期間限定複数年度(年度～年度)				

[Do] 1. 事務事業の現状把握(その1)

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標										
手段	① 事務事業の概要(事務事業の内容)					② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動				
	体づくりを通して、地域住民の親睦を図り、三世間の交流により各世代間の理解・融和を図ることを目的とする。 市補助金等交付規則により各行政区単位で実施する。交付申請は、年1回(30,000円)とする。 補助金交付申請のあった各行政区で、スポーツを通しての三世代での交流会を実施した。 事業内容について、広報に掲載のほか各種会議で紹介。 【事業費の内訳】 補助金 420,000円(14地区)					4/15市報「おしらせ版」に掲載し市民への周知を行った。 申請受付 → 交付審査 → 決定通知交付 → 実績報告書の受理 → 補助金交付				
	③ 対象(誰、何を対象にしているのか)					⑦ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
	行政区					ア 行政区数				
目的	④ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)					⑧ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
	体づくりを通して、地域住民の親睦を図る。三世間の交流により各世代の理解・融和を図る。特に高齢者の孤独化を防ぐ。					ア 参加者数				
						イ				
結果	⑤ 結果(どんな結果に結び付けるのか)					⑨ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)				
	市民が健康で明るい豊かな生活が送れる。高齢者の孤独感をなくす。					ア 健康で明るい豊かな生活を送っていると思えた人の数・割合				

(2) 指標値の推移										
区分		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	期間限定 総投入量
⑥活動指標	ア	地区	11	15	14	14	14	14	14	
	イ	地区	11	15	14	14	14	14	14	
	ウ									
⑦対象指標	ア	団体	11	15	14	14	14	14	14	
	イ									
	ウ									
⑧成果指標	ア	人	1,120	1,300	1,487	1,500	1,500	1,500	1,500	
	イ									
	ウ									
⑨上位成果指標	ア	%	70.0	65.1	65.0	66.0	67.0	68.0	68.0	

(3) 投入量(事業費)の推移											
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			使用料・手数料	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	330	450	420	420	420	420	420
	事業費計(A)	千円	330	450	420	420	420	420	420		
	人件費	正規職員従事人数	人	2	1	1	1	1	1	1	
		述べ業務時間	時間	45	48	48	48	48	48	48	
		人件費計(B)	千円	137	141	141	141	141	141	141	
トータルコスト(A)+(B)		千円	467	591	561	561	561	561	561		
事業費の内訳	25年度事業費 実績(千円)		26年度事業費 予算(千円)		27年度事業費 計画(千円)		28年度事業費 計画(千円)		29年度事業費 計画(千円)		
	補助金及び交付金	420	補助金及び交付金	420	補助金及び交付金	420	補助金及び交付金	420	補助金及び交付金	420	
	合計	420	合計	420	合計	420	合計	420	合計	420	

(4) 当該年度の実施内容										
※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する			26年度の事業内容		27年度の事業内容		28年度の事業内容		29年度の事業内容	
分野別主要事業 未来プロジェクト事業 市長マニフェスト事業 合併建設計画事業										

事務事業名	区体力づくり推進助成事業	事務事業No.	30413402	所属課	スポーツ振興課
-------	--------------	---------	----------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

- ・旧真壁町に区体育員制度があり、区体育委員会の会議の中で事業内容について協議をした。各行政区では、区長・区体育委員・地区役員が中心となり、スポーツを通じた三世代間での交流を図る。
- ・実施行政区も14地区になった。これからも事業内容について広報等を使い啓発活動を進める。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・最近、近所に住んでいても顔を合わす機会が少なくなってきた中で、小さい子どもから高齢者までと一緒に集まれるのがうれしい。
- ・事業内容について、わかりやすい、PRをして市全域で実施するぐらい推進してほしい。

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 体力づくりを通して、地域住民の親睦を図り、三世代の交流により各世代の世代間の理解・融合を図るといふ意図は、スポーツに親しみながら三世代間の交流を通して親睦・融和を深め、地域住民が明るい豊かな生活を送るといふ結果に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称)
有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 各行政区単位での事業が、上記の意図・結果を生んでいききっかけにもなっている。体力づくりをしながら、三世代間の交流のできる場(コミュニティ)が必要である。
	③対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ・市全体の行政区単位での事業を対象にしているため、妥当である。 ・体力づくりを通して、地域住民の親睦を図り、世代との交流により、理解・融和を図るといふ目的に合致するので、意図は妥当である。
効率性	④成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ・市全体の行政区単位での事業を対象にしているため、妥当である。 ・体力づくりを通して、地域住民の親睦を図り、世代との交流により、理解・融和を図るといふ目的に合致するので、意図は妥当である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・行政区内で、スポーツを通しての三世代間の交流の場が失われる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い 具体的な手段、事務事業名 地区の三世代による、地域住民の親睦交流について他に手段が見当たらない。
公平性	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
	⑦事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など))
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 参加者の負担額が大きくなると、参加者や事業実施地区の減少につながる。
公平性	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 完全自主運営のため削減余地はない。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公正・公平である 全行政区を対象としており、実施行政区も増えつつある。将来的には、補助金の額についても見直していかなければならない。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	全行政区を対象としており、実施行政区も増えつつある。将来的には、補助金の額についても見直して行かなければならない。 補助金交付要綱の検討・作成																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
広報紙に体力づくり三世代交流の内容について掲載する。また、スポーツ推進委員会の会議でも内容の説明をする。実施行政区も増えつつあり、将来的には、補助金の額についても見直しをする。 ・桜川市補助金等交付基準に基づく補助金交付要綱の検討・作成を図る。																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								
・広報紙に体力づくり三世代交流の内容について掲載する。また、スポーツ推進委員会の会議でも内容の説明をする。 ・実施行政区も増えつつあり、将来的には、補助金の額についても見直しをしていく。																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>